

8月23日（金） 交流1日目



浦安市の子どもたちが、秋田駅に到着！
この3日間、どんな体験が出来るのか楽しみです。



まずは、男鹿半島へ向かいました。
「男鹿のなまはげ」の前で記念撮影。



男鹿市の「なまはげ館・真山伝承館」を見学しました。
実際のなまはげは迫力満点で、部屋の中に入ってきた時はみんなびっくりしたよう。
体験コーナーで、子どもたちも「なまはげ」に変身！



なまはげの壁掛け作りに挑戦しました。
みんな、集中して作品を作っていました。



なまはげ壁掛けの完成！
一人ひとり個性豊かな「なまはげ」が出来ました。
お家への良いお土産になりました。

8月24日（土） 交流2日目



2日目は、地元大潟村の子どもたちと野球交流をしました。



今回は、浦安市側も違うチームの子どもたちが参加しているということで、秋田と浦安の子ども同士だけでなく、浦安の子ども同士も、交流を深め合ったようです。



お昼ご飯は、流しそうめん。
そうめんだけでなく、野菜や果物など色々な物が流れてきて子どもたちも大喜び！
美味しく、楽しいひとときとなりました。



今日、民泊でお世話になる農家の方々と対面。
「どうぞ、よろしくお願いします。」



受入農家のご家族と一緒に、バーベキューで楽しく夕ご飯をいただきました。
浦安の子どもたちは、みんな大潟村のご飯や野菜の美味しさに驚いたそうです。
また、宿泊したお家の大きさにびっくりしたり、田んぼが広がる景色に感動したり、自分が住む地域との自然や生活の違いを体感することが出来たようです。



野菜収穫体験では、とうもろこしを収穫しました。浦安市には、農地がないそうで、実際に野菜がどのように育つのか、どのように収穫するのかというのも、なかなか目にしたり体験したりするのは難しいとのこと。



ザリガニ釣りにも挑戦しました。こちらも浦安の子どもたちにとっては、大変貴重な体験となったようです。

【子どもたちの感想より】

- ・ ザリガニが怖いけどつかめた。
- ・ 浦安と少し違って、きれいな自然がたくさんあった。浦安ではできないザリガニ釣りが出来て面白かった。
- ・ 野菜の収穫やザリガニ釣りは楽しかったし、浦安ではなかなか出来ないことなので良い経験になった。景色もきれいで自然との触れ合いがいっぱい出来た。また行く機会があれば行きたいと思った。
- ・ 村の家の人がとても優しく親切だった。大潟村の子どもたちと友だちになった。田んぼや土地の広さに驚いた。
- ・ ぼくは生き物が好きだけど、浦安にはあまり生き物がいなくて残念なので、秋田には生き物がたくさんいて、僕も秋田に住みたくなった。
- ・ 秋田でこんなに貴重な体験が出来てとても良かった。秋田のご飯はとても美味しくてびっくりした。とても涼しかった。大潟村の子どもたちとはもちろん、浦安の他のチームとも仲良くなれて良かった。
- ・ 秋田は過ごしやすい気候だと思った。水田がとても広いと思った。流しそうめんにも野菜や果物が流れて来て新体験だったけど楽しかった。
- ・ 交流の試合で、浦安から来たまだ友だちじゃない人と絆を深められた。なまはげの事も色々分かって面白かった。今度の交流の時もっと絆を深めたい。また秋田に行きたい。
- ・ ホームステイ先の人に優しくしてもらえてすごく嬉しかった。
- ・ なまはげ体験では、なまはげが家に入って来る時はすごくびっくりした。民泊は初めてだったので心配したけど家の人と色々話が出来たので良かった。流しそうめんでは色々な食べ物が流れてきたので楽しかった。

【保護者の感想より】

- ・秋田の文化にも触れ、夏休みの自由課題は「なまはげ」について調べていた。
- ・団体行動や身の回りの事を自分で出来るようになり、お兄ちゃんらしくなったと嬉しく思った。今回の体験は親子共々とても意義あるものになった。
- ・事前に大潟村の事を調べ、期待をもって参加したことにより、とても充実した交流体験ができたように感じた。村の方々がとても優しくしてくれたと一番最初に話してくれたので、人の優しさに触れ、感謝する気持ちを自然に持つ事が出来ていた。小学生最後の夏休みにとても貴重な体験をさせていただき感謝している。
- ・今回参加し、息子にとって一生の宝となる経験が出来たと思う。浦安では、経験の出来ない畑のトラクターに乗せてもらったり、トウモロコシの収穫を手伝ったりした事を自慢げに話してくれた。親のいない所で、このような経験が出来た事はこれから息子の自信につながってってくれるだろうと思う。
- ・「大潟村を初めて見て田んぼばかりでびっくりした、交流についても野球も楽しかったし、ホームステイでもすぐに仲良くなってすごく楽しかった」と言っており、行かせて良かったと思った。
- ・全く知らない土地や風習を知り、とても楽しかったようだ。
- ・今回は、野球連盟を通しての参加だったので、親も野球をメインに考えていたが、野球以外の様々なプログラムを体験し子どもも大変楽しかったよう。近年、浦安のまわりに自然も少なく、田畑を間近に見たり、虫や魚に触れたりという機会がないので、良い体験が出来たと思った。
- ・帰ってくるまで色々心配していたが、駅で嬉しそうな顔をして帰って来て、家で寝るまで色々な話を聞かせてくれた。
- ・行く前は食事面など気になっていたが、帰って来て苦手な物にも挑戦したと聞いて、親の知らない姿を垣間見た。成長を感じた。
- ・普段のチームメイトだけでなく、市内の別チームと合同で遠征、さらに大潟村の子どもたちと交流という事で一気に新しい友だちが出来、とても刺激的な3日間だったよう。一番良かったことはやはりホームステイ体験。「とても広かった、先方のお母さんが優しくかった、トラクターに乗せてもらった、苦手な野菜が新鮮で美味しかった」等々大興奮で話してくれた。地域差を知り、たくさんの親切に触れたことが子どもにとって今後の糧になると感じた。多くの配慮に感謝。
- ・民泊での体験が印象に残ったようで、お家の広さ、料理の多さなどを話してくれた。
- ・失礼な言動が出ないか心配していたが、本人もそれなりに自覚をもって行動していたよう。本当にたくさんの方々にお世話になり、とても有意義な体験をさせてもらった。
- ・自分の息子に夏休み中にどこも連れて行く事が出来なかったと反省していた矢先、この話を聞いた時、二度とこのような事がないので「行って来なさい」と息子に言った。全ての体験が初めてで喜んでいた。(新幹線に乗ること、秋田県に行くこと、学校以外の行事で旅行することなど)。このようなイベントを今後も続けていってほしい。